

授業概要

インターネットをはじめとする情報メディアが浸透している現在、教育とメディアはますます重要なテーマとなってきた。この授業では、情報メディアの基礎的な仕組みや歴史を理解しながら、メディアと教育の関係について広い視野で捉えることを目指して講義する。特に今日の生活に欠かせないデジタル情報メディアを軸に、メディアについて考えることが教育にとっていかに大切であるのかを探究していく。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：メディアについて考えるとはどういうことか
第 2 回	メディアの歴史
第 3 回	メディアと教育（1）機能・特徴
第 4 回	メディアと教育（2）役割と歴史
第 5 回	メディア・リテラシーとは何か
第 6 回	コンピューター・ネットワークの歴史と仕組み
第 7 回	インターネットとコミュニケーションのあり方
第 8 回	マスメディアとパーソナルメディア
第 9 回	情報検索の仕組みと方法を知る
第 10 回	通信教育とメディア
第 11 回	アナログとデジタルについて理解する
第 12 回	現代のメディアと読書
第 13 回	子どもとメディア
第 14 回	情報倫理と知的所有権
第 15 回	まとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

情報メディアの特性を理解し、情報活用能力を高める。
教育とメディアの関係についての幅広い教養を身につける。
現代のあらゆる実務現場において求められるメディア・リテラシーや情報倫理について理解する。

履修上の注意

パソコンやインターネットが利用できる学内施設を利用する可能性がある。
講義時にコメントシートを配布し、授業の感想や自らの考え、疑問点等を書く時間を設ける。

予習・復習

講義時に予習の課題を出すので、次回までに取り組むこと。
ノートを積極的にとり、見返して復習すること。

評価方法

筆記試験（60%）
コメントシートおよび授業への参加姿勢（40%）

テキスト

テキストは特に指定せず、必要に応じて講義中にプリント配布やスライド投影を行なう。